

## 第23回夏季大学「新しい気象学」開講のお知らせ

——南極の自然と気象——

**主催** 日本気象学会

**後援** 気象庁、東京都教育委員会、日本地学教育学会、  
(助) 日本気象協会

毎年開催し好評を得ております「新しい気象学」を本年も開催します。この講座は、新しい気象学の普及をめざし、主として小・中・高校の地学・理科担当教師を対象として行うものですから、特に教職にある方の多数のご参加を希望いたします。

### 記

**対象** 小・中・高校の理科担当教師および気象愛好者を主体とし、その他学生および一般の希望者。

**受講料** 一般6,000円、教員5,000円、気象学会員・日本地学教育学会員・学生4,500円（消費税込み）。

**日時** 平成元年7月25日（火）12時（受付開始）  
7月28日（金）14時頃（終了予定）

**場所** 東京都千代田区大手町1の3の4  
気象庁講堂

ただし、台風来襲時には講堂の使用が不能になりますので、会場を他に変更することもあります。

**申込先** (〒100) 東京都千代田区大手町 1-3-4

気象庁内

日本気象学会事務局

Tel. 03-212-8341（内線 469）

**申込締切** 平成元年7月20日（木）まで

7月15日までに受講料の入金が確認できた方には、テキストを事前にお送りします（申込書参照）。

### ●会場への交通

地下鉄 東西線竹橋駅下車

もしくは

地下鉄 千代田線、丸の内線、都営三田線

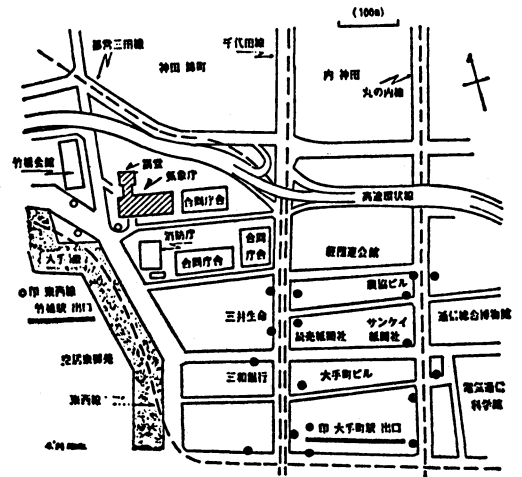
大手町駅下車

**申込方法** 次頁の様式の申込用紙に記入して申し込んで下さい。参加決定次第受講票をお送りします。ただし、定員に達し次第締め切ります。

受講料は、1 現金書留、2 郵便為替、3 振替貯金（口座番号 東京 3-5958、加入者名 日本気象学会）のうち適当なものを御利用下さい。

**特典** 受講者には、講義全内容のテキストを無料配布します。全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入会金の免除、学会出版物についての便宜をはかります。

**テキスト** テキストのみ希望される方は代金を添えて必要部数を申し込んで下さい。1部1,500円、送金方法は受講料の送金方法に準じて下さい。なお、刊行部数が少ないので希望者はできるだけ早めに申し込んで下さい。



## 第23回夏季大学「新しい気象学」受講申込書

第23回夏季大学の受講を希望いたしますので申し込みます。

受講料は、1. 現金書留、2. 郵便為替、3. 振替貯金で送りました。

(受講料の送金方法1~3のいずれかを○で囲んで下さい)

平成元年 月 日

氏 名 \_\_\_\_\_ 年齢 歳 職業 \_\_\_\_\_

自宅住所 (〒 ) \_\_\_\_\_ 電 ( ) \_\_\_\_\_

勤務先等名称  
連絡先 (〒 ) \_\_\_\_\_ 電 ( ) \_\_\_\_\_

所属学会 \_\_\_\_\_

↑テキスト送付希望の方はどちらか一方の□に×印を記入して下さい(7月15日迄)。

..... 切 取 線 .....

### 平成元年第23回夏季大学講義時間表 —南極の自然と気象—

	午前 (10時~12時)	午後 (13時~15時)
7月25日 (火曜日)	_____	<b>南極観測入門</b> <p style="text-align: right;">山本 哲 (気象庁観測部)</p> <p>南極観測とは何か、その意義と実状を見る。南極観測を理解する上で必要な基礎知識として、南極大陸の特徴や観測隊の様子を紹介する。</p>
7月26日 (水曜日)	<b>南極はなぜ寒い?—熱収支と気候—</b> <p style="text-align: right;">山内 恭 (極地研究所)</p> <p>地球の冷源といわれる南極。本当は、ふりそそぐ太陽の恵みはけして少なくないのです。では、なぜ寒いのでしょうか。</p>	<b>南極のオゾンホール</b> <p style="text-align: right;">忠鉢 繁 (気象研究所)</p> <p>1982年9月4日、昭和基地のオゾン全量が急に減少した。観測装置のトラブルを疑い、詳細な点検が開始された。オゾンホール発見の最初であった。</p>
7月27日 (木曜日)	<b>天気図の話—南半球の天気図—</b> <p style="text-align: right;">丸山健人 (気象研究所)</p> <p>あなたは南半球の天気図をみたことがありますか。実際の例を見ながら、季節による違い、北半球との違いなども考察します。</p>	<b>天気図実習</b> <p style="text-align: right;">丸山健人 (気象研究所)</p> <p>オーストラリア、ニュージーランド、南極大陸をおおう地域の高層天気図の作成を試みる。</p>
7月28日 (金曜日)	<b>極域の氷床コアと古気候・古環境</b> <p style="text-align: right;">藤井理行 (極地研究所)</p> <p>南極やグリーンランドの氷床には、過去数十万年間の地球規模の気候と環境に関する情報が記録されている。氷床から切り出された氷のコアは何を教えてください。</p>	<b>映 画</b> <p>1) 南極—雲・風・光 (第18次越冬隊)</p> <p>2) 新しい雪原の中で (第28次越冬隊、 「あすか」拠点での初越冬記録)</p>

水曜日または木曜日15時から気象庁見学の予定 (台風の襲来、地震の発生などの場合は見学を中止することがあります)。